

令和7年度北海道農政事務所入札等監視委員会第1回定例会議議事概要

(ホームページ掲載日： 令和7年7月29日)

開催日及び場所		令和7年7月1日(火)	北海道農政事務所3階大会議室		
委員		鈴木 隆司(公認会計士) 中村 浩士(弁護士)	鹿森 秀輝(ジャーナリスト)		
審議対象期間		令和6年10月1日～令和7年3月31日			
審議対象案件		6件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		6件 (抽出率 100.0%)	うち、1者応札案件 3件 (抽出率 100.0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 %)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争プロポーザル	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			標準プロポーザル	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の随意契約	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		物品・役務等	一般競争	4件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	随意契約 (企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	随意契約 (その他)		0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項)				

意見・質問	回答等
【公共工事等<一般競争>】	
◆ 北海道農政事務所旧苫小牧地域センター庁舎敷地測量業務	
○ 通常C等級とB等級では、B等級の方が上位となるのか。	○ 然り。実績と業者の規模が大きければ等級が上がる。本件はC等級ランクの業務であるが、C等級のみだと入札が成立しない可能性があったため、B等級も含めた。
○ B等級の業者は、C等級ランクの業務を入札できないということか。	○ 然り。そのため、発注者側であらかじめ範囲を拡大するような措置をとる必要がある。
○ この等級は、中小企業に配慮するためのものか。	○ 等級は実績や資力のない会社が、大きな業務に手を出して実際出来なくなったといったことがないように、ランク決めをしている。
物品役務等(一般競争)	
◆ 令和6年度北見地方合同庁舎暖房用燃料の購入	
○ 前年度はどちらの業者が入札していたか。	○ 前年度も今年度同様の業者が落札している。過去5年間も同業者が落札している。
○ 他の業者が落札した年もあったか。	○ 過去に違う業者が落札した年もあった。
○ 入札に参加する業者は限られてきているか。	○ 令和2年度から6年度の参加業者数は、2～4者である。
○ 多数が競合しない理由は何か。	○ 近隣の業者しか参加して来ないためと考えられる。
○ 単価契約とあるが、入札金額を予定数量22,000リットルで割った金額が単価となるのか。	○ 業者に単価を決めていただいて、その単価に予定数量をかけたものが入札金額となっている。
○ 実際数量は予定数量22,000リットルに近い数値になっているのか。	○ 然り。結果的に予定数量の方が若干多めとなっている。
○ 実際数量が予定数量より多めでも入れてもらえるのか。	○ 然り。
◆ 令和6年度北見地方合同庁舎除排雪業務	
○ 入札してくれる業者は少ないものなのか。	○ 然り。前年度も1者のみ。
○ 参考見積りは何者からとられているのか。	○ 過去に参加された業者を含め3者からとっている。
○ 落札した業者は過去3年も同じか。	○ 然り。他の業者も入札に参加しているが、令和2年度から同じ業者が落札している。
○ 落札率が100%で、100円代まで数字が一致しているが、こういったことはよくあるのか。	○ 然り。
○ 単価契約か。単価は時間で算定しているのか。	○ 然り。予定時間で算定している。
○ 公告するときには、ダンブがこれくらいかかるというように時間の値段を表示し、単価を出してもらっているのか。	○ 然り。
○ トータルで決めているのか。	○ 然り。個々の金額を積み上げて、入札金額として提示いただいている。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

○ ダンプは安価だが他の項目が高価な場合でも、トータルが安ければよいのか。	○ 然り。
○ ダンプ等は実績をみて、大体どのくらいの割合となるかを算定しているのか。	○ 過去3年間の実績の平均で求めている。
○ トータルの数量だけではなく割合も一律的に増えるのか(ダンプの台数など)。	○ 一律的に増えるということではない。
○ 本件は1者だが、2、3者が競合した場合、単価は安くても、トータルの数量では割合次第で安さが逆転する場合もある。実績の検証はしていくべきだと思う。	○ 今後検証する。
○ 雪が多い、少ないということによって稼働率が違ってくると思われるが雪が少ない時の保証は契約の中にあるのか。	○ 保証はない。
◆ 令和7年度北海道農政事務所白石庁舎及び北見地方合同庁舎で使用する電気の調達	
○ 1者となっているが、過去も入札状況も独占状態なのか。	○ 令和6年度は0者、令和5年度も0者、令和4年度は1者となっている。
○ 参考見積りは何者からとられたのか。	○ 予定価格の算定にあたっては、業者の見積りは採用していない。電力会社の約款の価格を参考にしている。業者も時間ごとに単価を決めており、見積りを出せないところが多い。
○ この案件に限らず、参考見積りはとらないのが一般的な扱いなのか。参考見積りをとらないことが多いのか。	○ そのようなことはない。参考見積りを徴取することが多い。電気の契約関係は特殊で、見積りが出せないということで公表されている価格をもとに予定価格を算定している。
○ 入札が1者の要因は何か。	○ 業者の意向と考える。入札公告期間を長期間としたものの、応札していただけなかった。
○ 再生可能エネルギーによる電力の使用は義務付けられているのか。	○ 全省庁で令和7年度から40%となった。
○ その割合が、応札業者のハードルになっているのはいか。	○ 十分満たす業者はある。
○ 40%は全国共通の基準なのか。	○ 然り。令和6年度は30%で2030年までに100%を目標としている。
○ 農政事務所で管理している庁舎は4か所か。	○ 白石庁舎と北見地方合同庁舎の2か所。
○ 管理している庁舎をまとめて行った案件か。	○ 令和3年度までは分けていたが、令和4年度からは2箇所まとめて入札している。
○ まとめられているから応札していないということはあるのか。	○ そのようなことはない。
○ 競争入札だが、1者のみであるため、参加業者が少ない要因等把握していただければと思う。	○ 承知しました。
◆ 地図ほか購入	
○ これは何年ぶりの更新になるのか。	○ 古くなった地図を中心に10年以上の地図を更新した。なお、今まで入札は行わず古くなった地図から予算の範囲内で順次購入していた。

○ 他の業者でも対応できるものなのか。	○ ゼンリンの地図を納品できる業者であれば対応可能。
○ 以前の業者はジオワールド株式会社ではないのか。	○ ジオワールド株式会社は地図専門店。大きな書店であれば地図は取扱っている。
○ 独占になっているというわけではないか。	○ 独占になっているというわけではない。
○ 住宅地図にファイル版と冊子版があるが、その違いは何か。	○ ファイル版は1枚1枚分けられるようになっている。冊子版は本になっている。
○ 当該地図は、かなりの頻度で更新しているのか。	○ 3年から5年の頻度で更新している。
○ 紙媒体の地図が必要なのか。電子版でも良いのではないか。	○ 紙媒体の地図は、すぐ見れることや扱いやすいため、紙媒体を購入している。
○ 電子版にすれば、ファイル版と冊子版を2つ購入する必要はなく、バインダーを購入する必要もないため、もう少し安く購入できるのではないか。	○ 同じ地図を2つ購入しているわけではなく、現場の使いやすさで紙媒体を選んでいる。
○ 紙媒体を購入すると電子版がついてくるサービスはないのか。	○ そのようなサービスはない。
○ 住宅地図は庁舎に置いてあるのか。	○ 各地域拠点等に管轄市町村の地図を置いている。
○ 検討した結果、紙媒体にされたのか。	○ 調査を委託している調査員も使用しているが、職員と同じ端末を持っていないため電子版を利用できない。
物品役務等(随意契約)	
◆ 令和6年度北海道トラック輸送バランスアッププロジェクト (北海道の青果物物流効率化に向けた実態調査委託事業)	
○ 調査は既に完了し、結果の報告書は出ているのか。	○ 成果報告書は、提出済みである。
○ HPで報告書を見れるようになっているのか。	○ 今般の委託調査(枠予算)は取扱いが本省であり、報告書・成果物等はまだ掲載に至っていない状況。
○ 報告書では成果が提示されているのか。	○ 報告書の概要としては、現状はどうなっているのか等の調査結果と今後、何が 필요한のか等の問題提起の内容。本年2月17日にセミナーという形で、報告会を実施。 (開催地：北見市)
○ 物流業者を含めたシンポジウムの開催予定はあるのか。	○ 今般の事業を通じ、道内の主要行政機関が深く連携する機会ともなった。また物流の課題は様々なため関係機関が連携し開催する方向で考えているところ。
○ 評価項目にある基準の得点は、個々の案件ごとに設定しているのか、農水全体のものか。	○ 点数配分は個々の事業により差は出てくるが、項目としては共通している。
○ 点数はどのような形で、設定しているのか。	○ 点数の基準は、個々の事業担当者がどこを重視するかで変わる。
○ 評価は金額だけのものではないのか。	○ 予算額を設定しており、金額が予算額の範囲内であれば、企画内容で評価することになる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし